

3. センター主催・共催

講演会・シンポジウム・ワークショップ等の概要

先に掲げた通り、本年度も多数の講演会・シンポジウム・ワークショップを行った。テーマを統一しているわけではなく、現代社会における喫緊の課題に取り組む多様な企画が続くことになった。

なかでも、今年はグローバリズムの時代における国家の再定位に関わる企画が多かったことが特徴である。また、北大法学研究科における研究の一つの特長として知られる法学への学際的アプローチを志向する高度な研究報告も法理論研究会との共催という形で多数行われた。

昨年度同様、今後の課題としては、各企画をより研究会内外の聴衆に開かれたものにする、北海道における法学・政治学の役割を意識した企画を増やすこと、があると考えている。

2016年度 開催件数

研究会(講演会、シンポジウム含む)		全 35 件
対象別 内訳	研究者	35
	学生・卒業生	35
	一般	14
公開講座		1 件(全 4 回)